

生産出荷近代化計画の概要

野菜指定産地名	会津	指定野菜の種別	夏秋トマト		
区 域	会津若松市、喜多方市、下郷町、只見町、南会津町、北塩原村、西会津町、磐梯町、猪苗代町、会津坂下町、湯川村、柳津町、三島町、昭和村、会津美里町				
指定年月日	昭和51年6月15日	改正指定年月日	—		
計画樹立年月日	昭和52年12月10日	計画変更年月日	令和3年2月26日		
関係農協名	会津よつば農業協同組合				
生産及び出荷の近代化に関する基本的構想	<p>1. 生産性の向上</p> <ul style="list-style-type: none"> 生産力の維持・拡大のため、新規就農者や定年帰農者等の誘導による新規生産者を確保するとともに、雇用の導入による規模拡大を促す。 自動かん水・同時施肥装置等を導入し、規模拡大を図るとともに、作型・生育ステージ毎に作業計画を立て、安定生産と安定経営を目指す。 土づくりと土壌分析に基づく施肥および作型・生育ステージに対応した肥培管理を進め、収量の向上を図る。 GAPを導入し、生産履歴記帳による適正な栽培管理を推進する。 化学肥料の削減、総合的病害虫防除で農薬使用回数削減を図り、環境保全型農業に取り組む。 <p>2. 出荷・流通の改善方針</p> <ul style="list-style-type: none"> 多種多様な市場要望に柔軟に対応できる体制を構築するため、広域集出荷施設を核とした販売体制を構築する。 選果レベルの統一と品質向上のため、選果・選別の個人格差および集荷場間の格差是正を図る。 産地（作柄、出荷数量予測）と市場（販売情勢）との情報共有を図り、市場販売ニーズに対応した出荷形態を確立する。 関係機関と協力し、販売促進活動と風評被害払拭を図る。 				
各指標の現状と目標					
項 目		現在(平成30年)	目標(令和5年)	対比(%)	
作 付 面 積 (ha)		108.1	104.6	97%	
生 産 数 量 (t)		5,891	5,866	100%	
10a当たり生産数量 (kg)		4,490	4,439	99%	
農 家 数 (戸)		497	492	99%	
10a当たり総労働時間 (時間)		1,200	1,050	88%	
農業従事者数 (人)		497	494	99%	
出 荷 数 量	生食用	卸売市場向け (t)	4,600	5,117	111%
		卸売市場以外向け (t)	427	163	38%
	加工用	卸売市場向け (t)	0	0	—
		卸売市場以外向け (t)	0	0	—
	合 計 (t)		5,027	5,280	105%
共 販 等 率 (%)		91.5	96.9	106%	